

派遣交換留学報告会 韓国天安市 祥明大学校 2024/8～2025/6

心理学部心理学科6221126 鶴川遥奈

1.留学の目的

「知らない世界を知り、文化に触れ、自分を変えたい」この留学目的・目標を持って1年間派遣交換留学生として韓国に渡韓しました。留学前の自分は転学部をしたことにより将来の夢も目標もなかなか見つからず、何のために学習をしているのかわからないまま大学生活を送っていました。その時期にたまたまグローバルスタディ募集のサイトに巡り合い、もし選考に落ちたとしてもこの挑戦は無駄にはならないと考え「自分を変えたい」その思いで選考に参加し合格をいただき留学に参加しました。



韓国を選んだ理由

- ①趣味の韓国コンテンツを見ている時に「反日」の要素が入っていることがあり、反日に関する日韓の歴史を学びたかったから
- ②自分の貯金で留学に参加できる国が韓国だったため

2.留学生活について

① 学修面

日韓に関する特に歴史・文学の分野についての講義を多く履修しました。韓国の視点で日本のことを学ぶことは新感覚であり日本人でも学ぶ機会の少ない分野についても触れており、新しく知識を身につけることができる非常に良い機会になりました。どの講義でも日本が韓国に与えた負の影響について触れており、少しその場に居辛いことも多かったけれど、この日韓に関する歴史や、その歴史によって変えられた、変えざるを得なかった韓国側の文化の日本化など日本人側が知っておかなければいけないことを学ぶことができ、講義を通じて「多様性の理解を深める」ということを深く学べた感じがしています。

② 生活面

韓国の大学では日本とは異なり転学や休学が一般的であり、4年間で卒業する学生の方が少ないということにまず驚かされました。それに関連して、祥明大学では学園祭だけでなく、ほぼ毎月のようにイベントや学科紹介(転学部生のため)が行われており、学生生活の中で思い出をつくる機会が非常に多いと感じました。イベントのうちの1つに国際学部の学生がそれぞれの国の食文化を紹介する「ワールドビレッジ」という屋台形式のイベントがありました。私は日本語学科に参加しパフェと大福を作り販売しました。

また、各学科の教授も参加する韓国特有の文化である「MT」という学科内での親睦を深める合宿や、新学期の開始時に毎度行われる「ケション」と呼ばれる飲み会など、大学と学生が一体となって企画・運営する多彩なプログラムが用意されていました。その他も学内カフェのコーヒーが無料の日、キンパやチキンなどが無料で配られる日など数えきれないほどのたくさんのイベントがありました。実際に体験しこれらの活動を通して、韓国の大学生たちが大学生活をより積極的に楽しみ、仲間とのつながりを大切にしながら多くの思い出を作っていることを実感しました。このようなプログラムは日本の大学ではあまり耳にしないため大学側と学生が一丸となって大学生生活楽しむ韓国のカリキュラムはとても良いなと思いました。私自身も1番大学生生活を楽しめたなと感じています。

3.留学を通じて

この1年間の留学を通じて文化の違いはもちろんですが、特に人間の本质である「意識」の違いを知り学ぶことができました。

この「意識」の違いを特に感じる事ができたきっかけは韓国の政治における選挙活動です。日本では選挙時報道や選挙カーなど様々な取り組みが行われていますが、社会人含め特に学生の投票率は低く政治の参加意識が低いことが社会問題としても取り上げられています。

しかしながら韓国では、選挙時の選挙カーはほぼ毎日どの時間帯も走っており、選挙に関する内容や立候補者に関することは全て取り上げテレビ局で報道され投票口も市役所や公共施設だけでなくどの大学にも設置されており、学生もほとんどが投票し現在必要不可欠とされているツール、Instagramなどにも投票完了の写真をあげるなど日本とは政治意識が非常に異なるなと感じました。

友人に選挙投票のことを質問するとどの学生も自分の国のことなのに参加をしない方がおかしいと返事が返ってきて、政治に関する国民意識の違いを痛感しました。この国民意識の違いは過去の歴史の影響が深く関与していると私は考えており、植民地支配の時代、日韓併合などその他様々な歴史をしっかりと国民全員が学び伝達したことにより、自分達自身が国をつくるという認識が深まり政治への参加や政治に対する認識意識も形成されたのではないかと思います。加えて反日教育などは特に韓国人の国民意識に影響を与えている要素であり、被害の歴史の学習を幼少期から行うことにより、自国の団結力や自国は自分たちが作り続けるものという認識が生まれるのではないかと思います。

留学中に韓国では45年ぶりの非常戒厳令が発令され韓国内で政治に関する行動が多く起こり、漢江での大規模デモや国民が自ら動き出す場面が多くみられました。実際にこのような出来事に遭遇したことも含め政治に関する国民意識についての違いを痛感しました。他にも韓国には情の深い文化もあるため、政治だけに留まらず、自分の関係ない社会のニュースやその他出来事も全て自分の立場に置き換え考えるという国民意識も生活する中で感じる事が多く、「認識」に繋がる「物事の捉え方」が根本的に日本とは違い興味深かったです。

4.帰国後

帰国後は謎の体調不良に悩まされ体調面は最悪でしたが、留学の目標通り、目標以上に自分を変えることが出来ました。たった1年間でも環境が変わると思力や行動力含む自分の人間力がこんなにも変わるのか...と痛感しました。

「내 인생이니까」(私の人生だから)これは私が留学中に1番聞いた言葉です。「謙虚さ」を重んじる日本で生まれ育った私にとっては「相手を優先すること」を第一に考えることは常識であり何なら素晴らしい行動であると考えていました。

しかし韓国では真反対で、「まずは自分、その後にみんな」という何が何でも自分が優先マインドの方が多く、「生きやすさ」というものはその場で探るものではなく自分で作り出すものなんだ...と実感しました。自分をまず1番に考えられない人間に他者を助けられるわけがない、自分の人生なんだから自分が得をするように生きないでどうする。考えてみれば当たり前だけれど私にとっては非常に衝撃を受けた言葉でした。

今後壁にぶつかった時、考えすぎてしまった時、しんどい時は「내 인생이니까」という言葉を思い出し物事を前向きに捉えて楽しく自分の人生を過ごそうと思います。

